

PRIMERGY 向け DCPMM ご使用上の留意・注意事項

DCPMM に関して、以下の留意・注意事項がございます。製品をご使用になる前にお読みくださいますようお願いいたします。

【制限事項】

1. CPU とメモリ構成について

使用できる構成に制限があります。詳細は、『システム構成図 留意事項編』を参照ください。

2. 使用できる OS について

OS ブート領域として、使用はできません。また、使用できる OS とオペレーティングモードに制限があります。詳細は、『システム構成図 留意事項編』を参照ください。

3. システム BIOS の設定について

UEFI モードのみサポートしています。また、本体のメモリモードは、“インデペンデントモード”（デフォルト）のみをサポートしています。

【留意事項】

4. DCPMM の出荷時設定

DCPMM の工場出荷時の設定は、Memory Mode です。App Direct Mode で使用されたい場合は、システム管理者にて設定変更が必要です。

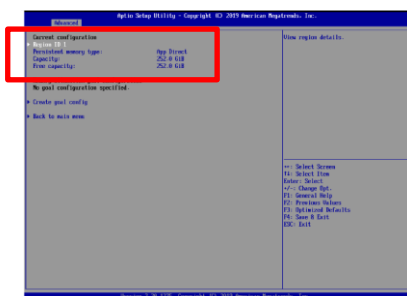
5. BIOS メニューでのメモリモード (Region) の確認方法

以下のメニューで確認が可能です。画面上部に Region の構成内容が表示されます。

「Advanced」

| — 「Intel® Optane™ DC Persistent Memory Configuration」

| — 「Regions」



6. Intel® Optane™ DC Persistent Memory Configuration メニューでの CPU ソケット番号の表示について

システム BIOS 中の“Intel® Optane™ DC Persistent Memory Configuration”メニューで表示される CPU ソケット番号は、1 ではなく 0(ゼロ)から始まります。

7. DCPMM の増設と交換

DCPMM を App Direct Mode で使用中に、DCPMM を増設、または交換した場合、Region の再設定が必要となります。

8. DCPMM に保存されたデータの扱い

DCPMM を App Direct Mode で使用中に、Region または Namespace を再設定した場合、DCPMM に保存されたユーザデータは消去されます。必要に応じて、データのバックアップを実施してください。

9. Ratio について

DCPMM 以外のメモリと DCPMM の容量比率(Ratio)が 1:4~1:16 以外の場合は、AD モードのみ使用可能です。

10. 有寿命部品の扱いについて

本製品は有寿命部品のため、寿命時には製品の再購入が必要です。寿命監視方法については、『Intel® Optane™ DC persistent memory(DCPMM)ユーザーズガイド』を参照してください。

11. システムボードを交換する場合の注意点

DCPMM を使用している場合にシステムボードを交換する場合は、『Intel® Optane™ DC persistent memory(DCPMM)ユーザーズガイド』に記載された「サーバ本体のシステムボードの交換方法」を参照ください。

12. Namespace のマウント先について

Namespace のマウント先(例: pmem0)は、Namespace の削除や、追加によって変わる可能性があります。

13. エラー発生時の GEL ランプについて

DCPMM に関する Critical エラーが発生した場合、GEL ランプが点灯しますが、システム BIOS メニューに入ると、消灯します。

14. iRMC WEB UI を用いてのメモリ情報参照について

OS がインストールされていない状態でシステムを起動した場合、iRMC WEB UI の System Board メニューにて、DCPMM を含む全てのメモリ情報が正しく表示されません。

OS をインストールせずに DCPMM の状態を確認する場合は、システム BIOS メニューの Memory Status、および、Intel Optane DC Persistent Memory Configuration メニューを使用してください。

—以上—